

広報 **となん**

新潟県津南町

2012 No.615

9.20

tsunan.town



主な内容

- 戦争をしないために..... 2- 9
- かわらばん
2012わんわん運動会ほか..... 10
- Tapでいこう..... 16
- まちかどスケッチ..... 18



平和記念公園の原爆死没者慰霊碑から原爆ドームが見える。骨組みばかりの建物が私たちに語りかけてくるようだ。



67年前の姿のままで残る「原爆ドーム」。爆心地に極近い場所に建ちながら倒壊を免れ、補強をされ今もその姿を残す。また1996年には世界遺産に登録されている。戦争遺産は世界中に数多あるが、この「原爆ドーム」が世界遺産に登録されているのは、悲しみの戦争遺産だからではなく、人が人にむけて「核」を使った人類史を画す遺産であるからだ。

67年たった8月6日、世界各地からこの建物のまわりに人が集まり往来する。人々はこの建物を目にして何を想うのか。



資料館に展示してある被爆前後の模型。左上が被爆前で、下が被爆後である。手前のT字型に見える相生橋が、投下目標にされた。写真手前にある建物が原爆ドームで、真ん中の三角形の中州が、現在、平和記念公園となっている。被爆前は、歓楽街であったが、ほぼ全てが消し飛んだ。当時、広島には35万人いたが、原爆により14万人がその年のうちに亡くなった。たった一つの爆弾は、半径2kmの建物を全壊させ、また爆風により、多くの建物を倒壊させた。

たくさんの寄付ありがとうございました。

今回の中学生広島訪問派遣事業において町民の皆様から多大な寄付をいただきました。お預かりした寄付金については、広島市へ義援金や原爆養護ホームへの見舞金として使用しましたので収支を報告いたします。ご協力ありがとうございました。

津南町教育委員会

[収支]	前年度余剰金	21,007 円
	平成 24 年度寄付金	63,000 円
	合 計	84,007 円
[支出]	広島市義援金	50,000 円
	原爆養護ホーム見舞金	20,000 円
	合 計	70,000 円
	収支差引残高	14,007 円

余剰金は次年度の事業に使わせていただきます。



戦争を しないために。

67年前に日本は世界を巻き込む戦争をした。誰だって戦争はしたくない。できれば避けたい。ではなぜ戦争がおこるのか…。

8月5日から7日まで、津南町広島平和記念式典派遣団が広島市を訪れました。

本やインターネットでも戦争の情報は手に入ります。

しかし被爆されたかたから直接話しを聞き、広島暑さや、匂いを感じることで、わかることがあります。

経験を知識として次世代に伝えられるのは、人間だけです。

戦争をしないために。

私たちは、過去を学ばなければなりません。

ぜったいが使えるなら

原爆養護ホーム舟入むつみ園が、ほかの老人ホームと違う点がある。それは入所者全員が被爆者であるということ。入所者は毎年全国各地から700名を超える学生訪問に、丁寧に被爆体験を語ってくれる。強い想いを胸に：「次の世代に伝え残してほしい」。

昭和20年8月6日午前8時15分にエノラゲイ（爆撃機）が広島に原子爆弾を落としました。その時、一瞬にして3000度〜4000度の熱さで熱せられ街を焼き尽くしたといわれます。これは、のちに聞いた話で、私のその日のできごとをお話します。

ガラスの刺さった男の子

私は、国民小学校の6年生でした。当時は、夏休みはなくて学校に行っていました。原子爆弾が落とされた午前8時15分は、校庭で先生の話を聞き終えて、ちょうど教室に入ったときでした。突然外がピカーと光りました。その日は、暑くて明るい日だったのに、その明るさの何十倍の明るさでし

た。「あつ」と声が出て、それからドーンと地響きが出て、子どもでも爆弾が落ちたことがわかりました。地響きとともに、地の底に落とされたような衝撃が走りました。そのあとに、男の子が「痛いよー」と泣く声が聞こえたのです。教室のガラスは枠ごと吹き飛んで、ガラスの破片が頭に刺さって血を流していました。私が、刺さったガラスをとってあげたら、血がドクドクと流れ出てきたので雑巾で押えました。そうしているうちに先生からの指示で、裏山の防空壕に逃げました。

その時は、そんな大きな爆弾があるなんて思っていませんから、爆弾は、学校の近くに落とされたものと思っていました。しかし振り返っても、町に火があがっていません。しばらくして、

校庭に集まったら、急に空が真っ黒になって、ザーと黒い雨が大きな音で降ってきました。暑いし、汗はでるし、「黒い雨なんてめずらしいね〜」と言っていました。あとで分かったことですが、この黒い雨は、原子爆弾が破壊した広島のススが天に昇って降った放射能をたっぷり含んだ雨だったのです。みるみる白い服にポツポツしみができてきました。「とれないね〜」なんて友達と言っていました。教員室の横の屋根のあるところについて「これから

校庭に集まったら、急に空が真っ黒になって、ザーと黒い雨が大きな音で降ってきました。暑いし、汗はでるし、「黒い雨なんてめずらしいね〜」と言っていました。あとで分かったことですが、この黒い雨は、原子爆弾が破壊した広島のススが天に昇って降った放射能をたっぷり含んだ雨だったのです。みるみる白い服にポツポツしみができてきました。「とれないね〜」なんて友達と言っていました。教員室の横の屋根のあるところについて「これから

とれない黒い雨

どうしたらいいんじゃないか」と言っていました。雨が落ち着いたので家に帰ることにしました。

お寺に逃げてきた人たち

県道を歩いて帰る途中には屋根が落ちたり、窓が吹き飛んだりしている家がたくさんありました。家に着いたら、近所の人々が御飯を炊いて「おにぎり」を作ってお寺に持っていくところでした。

た。「広島に大きな爆弾が落ちてたいへんなことになった」という話でした。今ほど情報がない時代で正確なことは何もわかりませんが、お寺では、広島から逃げてきた人を収容していたのです。

地獄のような光景

学校の先生をしていたお母さんが、夜になっても帰ってこないの、祖母

が私に迎えに行けといいました。学校まで探しに行くと、お寺に行くと聞かされたので、お寺に向かいました。その途中、ぷーんと腐ったような臭いがしてきました。夕方でしたがまだ明るかったので、お姉ちゃんか、お兄ちゃんかわからん、目玉が飛び出した焼けただれた人がいました。田舎ですから、たいがい知っている人ですが、はじめて見る顔ばかりでした。やっとお寺に着くと、もっとひどい臭いがし

ました。地獄のような光景でした。おばけのようになった人たちが、唸り声をあげていました。母を見つけると「ここで何をしているの、こんなところに来ちゃいけない」と怒られました。そして「包帯代わりに使うから、近所の人たちにたのんで浴衣を集めてもってきて」と言われました。

真っ赤な空

夜になり祖母に呼ばれて外に出ると、広島の方の空が真っ赤に染まって焼けていました。その次の日も、その次の日も空は真っ赤に染まっていました。母は、夜明けごろに憔悴しきって帰ってくる、「何人も亡くなった」と話してくれました。火の海になった広島街から山を目指してたくさんの人々が逃げてきたそうです。

母の同級生の子の焼けただれた弁当箱が原爆資料館に展示してあります。ちょうど子どもの名前が書いてあったから分かったそうですが、「弁当入れてやったのに帰ってこない」とお母さんは毎日泣いていたといいます。

一週間後、広島が見渡せる山に登った人たちは、一面焼野原になった広島を見て泣き崩れたそうです。

母が、ぜったいという言葉が使えるとしたら「戦争はぜったいにしてはいけない」という言葉にだけあてはまると言っていたのを思い出します。

帰ってこない人たち

広島から山一つ越えた村でも、広島に行き帰ってこない人はたくさん

戦争は

ぜったいに
いけません。



松永二葉さん
広島市から山一つ離れたところに住んでいた二葉さん。年々8月6日の話しをできる人が減り、自分も次世代に伝えなければいけないという強い想いを持たれ、当時の様子を私たちに語ってくれました。



見えないバトンを渡されて

広島派遣で出会った皆さんの人々が話した恒久平和へかける想い「見えないバトン」を渡された中学生たちは何を想うのか。



誰もが幸せになるために

秋野美貴

私はこの広島派遣で戦争について考え、見つめ直すきっかけになり、とても貴重な体験をすることができました。この体験を通して思ったこと、考えたことがあります。

一つ目は被爆者のかたからお話を聞いた時のことです。私たちは原爆養護ホームで、原爆投下時の状況や様子を詳しく聞かせてもらいました。まさに「地獄絵」だったそうです。当時の状況をこの目で見ただけではないのに、その時の雰囲気を感じることができました。翌日の平和祈念式では被爆で亡くなった人たちに、「絶対に戦争はしません。」という強い想いで黙祷を捧げ、安らかに眠ってほしいと思いました。

二つ目は平和記念資料館に行った時

のことです。そ

こには被爆者の遺品、惨状を示す写真や資料が展示されていました。それを見て松永さんのおっしゃっていた当時の状況がよくわかりました。そして被爆者の人たちの苦しみが伝わり、この苦しみを絶対に私たちは忘れてはいけなと思いました。

私はこの体験を通じて戦争は絶対にしてはいけなさと改めて思いました。戦争をして嬉しい人なんていません。幸せになる人もいません。誰もが幸せになる為にはまずは世界が平和になることだと思えます。核もない、戦争もない、そんな世界を作っていくにはまだまだ時間がかかると思います。それでも、誰もが笑顔で暮らせる平和な世界に一秒でも早くなってほしいです。そして今回学んだことをたくさんの人に知ってもらえるように、伝えていきたいです。

原爆の全てが

笑顔に変わるように

西澤克海

学校の学習で、67年前にこの広島に地に、原爆が落とされ、多くの尊い命が奪われた事は知っていたが、戦争を知らない僕たちにはどこか遠い出来事のようにしか思えなかった。「全身やけどで皮が溶けている人を見て最初はおぼけかと思いました。」

原爆養護ホームで松永さんは、辛い経験を話してくれた。実際に体験した人の話はとても辛く悲しい話だった。松永さんのように、原爆の体験を話してくれる被爆者のかたも、年々減っている。しかし、もう二度と戦争を繰り返さないためにも、こうした体験を語り継ぐ事が必要だと話してくれた。僕たちも、平和の使者として伝えていかなければいけないと思った。

あの日から67年間時を刻むことのない時計。熱で焼きついた人の影。食べることなく黒こげになった白飯。原爆資料館には生々しい写真や当時の物が展示されていて、実際の原爆の威力は、想像以上に恐ろしいものだった。

原爆投下直後に「今後75年間草木は生えない」といわれた広島に、一年もた



たないうちに芽生えた草木の写真がある。力強く芽生えた草木が、多くの人々に生きる希望を与えた事に僕は心を打たれた。

僕たちが訪れた広島は、緑も多くきれいに整備されて、その昔焼け野原だった事が信じられない大都会だった。それはきっと、人々が雑草のようにたくましく、希望を持ち、がんばって復興してきた証だと思う。

僕は今回のこの広島派遣で、戦争の恐ろしさや苦しみ、命のたいせつさ、そして希望、平和の尊さなど、たくさんのことを学ぶことができた。

今でも世界中には約200の原爆があるといわれている。その全てが使われる事なく人々の笑顔や幸福へと変わる日が少しでも早く来るように平和を訴えていきたい。



平和記念資料館で、ピースボランティアから当時の様子を聞く派遣団。広島では、当時、度重なる空襲による民家の延焼を防ぐため、あらかじめ建物を壊す「建物疎開」を行っていた。この建物疎開には、中高生が労力として動員されていたため、たくさん子どもたちが亡くなったといわれている。



平和祈念式が終わると、献花をする人々の長い列ができる。派遣団も恒久平和への願いを込め、慰霊碑に花をささげた。列には、学生だけでなく、外国人の姿も多くみられる。



松永さんの話で紹介された黒焦げになった弁当箱が原爆資料館に展示してあった。建物疎開に出かけた息子を捜しにでかけた母親が、弁当箱を抱えた姿の遺体を発見したという。弁当箱に名前が書かれていたことで、本人のものだとわかった。中にあった御飯は、炭化し原爆の威力がうかがえる。



全国各地から届けられる千羽鶴。津南町から持ってきた平和の願いを込めた千羽鶴を「原爆の子の像」に納めた。この像は、千羽鶴を折れば原爆症が治ることを信じて12歳で亡くなった佐々木禎子さんをモデルとしている。

津南町に贈られた本が語るもの

8月14日に町は、田辺健之（たなべけんじ）さんから、「けんちゃんトシせんせい」という図書を10冊寄贈いただきました。この本の主人公、けんちゃんこと、田辺健之さんはお父さんが津南出身で、戦争孤児となった後も、津南の親戚の下で数年暮らすなど津南と縁深いかたです。この本は、けんちゃんが戦争中に東京から埼玉へ疎開したときの、福知トシ先生（保育士）の記憶をもとに書かれています。



けんちゃんトシせんせい
高木敏子・ぶん/狩野ふきこ・え
金の星社/出版

けんちゃんとトシ先生

4歳のけんちゃんは祖父母、母、妹の5人で東京で暮らしていました。お父さんは、すでに出兵先で戦死し、お母さんが働きながら一家を支えています。

日に日に空襲は増していきました。

けんちゃんを埼玉に疎開させ、家族と暮らすお母さんも連日の空襲に怯える毎日でした。

私にももしものことがあったら

昭和19年ころから、東京は空襲されはじめ、当時、けんちゃんに通っていた保育園でも、埼玉に園児と保育士が疎開する、「集団疎開」の案が出されました。日本初となる「集団疎開」です。子どもたちは、親と離れ離れになりながら、戦争が終わる日々を待ち望んでいたといいます。しかし、昭和20年に入っても、戦火は衰えることなく、

そんな昭和20年3月8日、埼玉の疎開先にお母さんが、けんちゃんに会いにきました。けんちゃんとの再会に喜びながらも、お母さんは別れ際に福知先生に、「明日も生きていられる気持ちになれません。ここにケンジのために貯めておいた貯金があります。私にもしものことがあったら、先生、ケンジをよろしくお願いします。」と通帳

を手渡したそうです。福知先生は、「お母さん、そんなこと冗談でも口にしないでください。」と言って励まし、お母さんを見送りましたが、それが最後の別れとなってしまいました。昭和20年3月10日、東京で大規模な空襲が行われました。「東京大空襲」です。この一晩だけで、約10万人が焼け死んだといわれています。保育士は、疎開先と親御さんとの間を月に何度か手紙を届けに行っていて、福知先生は、その二日後に東京を訪れました。けんちゃんの家にも手紙を届けようとしたのですが、家があったところは、焼野原で何もなく、近所の

方から一家全員空襲で亡くなったと聞かされました。早く戦争やめてくれ！疎開先に戻った先生は、つらい気持ちをぐっとこらえて、けんちゃんに家族が亡くなったことを伝えると、けんちゃんは、「おーい日本の兵隊さん。早く戦争やめてくれ！」と叫んだそうです。その後、戦争孤児になってしまったけんちゃんは、津南の親戚に2年間引き取られた後、横浜で暮らしていました。一方、福知先生は、けんちゃんの疎開先での出来事が忘れられず、その

後も保育士として、園児たちにこの戦争の話を伝えてきました。

うです。

そして今。次へ伝える使命

けんちゃんをずっと探していた福知先生は、新聞の投書をきっかけに田辺さん（けんちゃん）が46歳のときにやつと再会することができました。田辺さんは、当時のことを誰からも聞かされていなかったようで覚えておらず、はじめて疎開当時の話しを知り涙したそ

すでに福知先生は亡くなられ、この本が残りました。田辺さんは、「直接戦争のことを語ることはできないが、この話の本になったことや、福知先生と再会できたことは、私に次の世代にこの話をつなぐ使命があたえられたのではないかと考え、この本を、津南町だけでなく各地の小中学校に寄贈されています。



田辺健之さん（神奈川県在住）
疎開中に家族を東京大空襲で失い戦争孤児に。4歳だった健之さんを主人公とした疎開中の体験を題材にした絵本を町に寄贈されました。



平成24年度 広島平和記念式典派遣団
津南中学校3年【福原有佑、西澤克海、大口明日香、秋野美貴】 長束貴英（津南中教諭）、小野塚均（教育次長）、丸山敦史（総務課主事）

けんちゃんとの再会

原爆ドームの前での撮影。

地元の人が後ろから言った。

「笑顔、笑顔」

いつでも笑顔でいられる世界

戦争をしないためには

何が必要なだろう。

暮らしの情報 見て・知って・得をする！ かわらばん

2012 わんわん運動会 inベルナティオ

わんわん運動会inベルナティオを開催します。秋の一日を飼い犬とともに楽しませませんか？

■日時 9月30日(日) 午前10時～午後2時

■会場 ベルナティオ特設芝生広場
(コスモス祭り特設広場)

■参加費 一頭につき1,000円

■競技内容
お手おかわりゲーム、短距離走、恋・来いゲーム等

■主催 新潟県動物愛護協会 十日町支部

■お問い合わせ 衛生環境課
十日町保健所
TEL 757・2707

■日時 10月12日(金)
午後7時～8時(受付午後6時30分)

■会場 千手コミュニティセンター大ホール

■講師 張士堂 藤原大輔先生

■持ち物 敷物または座布団

■主催 新潟県看護師協会十日町地区支部

■お問い合わせ 中条病院 阿部
TEL 757・3018

救急救命士の 処置範囲に係る実証研究

十日町地域では、平成24年10月1日～平成25年3月31日までの間、医師の具体的な指示を受けて救急救命士が行える処置の範囲を広げられます。

①血糖測定し、低血糖が確認された場合にブドウ糖溶液の投与。
②重症喘息発作時に喘息治療用の吸入薬を使用。
③ショック状態の傷病者に対し点滴を実施。

これらの3行為の処置の効果や安全性について検証します。なお、傷病者が、

今回拡大される処置を断ったとしても不利益となることは一切ありません。

■お問い合わせ
十日町地域消防署救急救助課
TEL 757・1558

くらしの無料相談 (法務行政・登記・法律相談)

10月1日から8日まで「法の日週間」が実施されます。それ以外にもない、法務局・人権擁護委員協議会・司法書士会・土地家屋調査士会の四者共催で法務行政相談所を開設し、「くらしの無料相談」を行います。

相談は無料で、秘密は厳守されます。

■相談日時
10月2日(火) 午前10時～午後3時

■相談会場
十日町市中央公民館3階
(十日町市学校町1丁目)

■相談内容

- (1) 土地・家屋等の不動産登記の問題
 - (2) 土地の境界の問題
 - (3) 会社・法人登記の問題
 - (4) 戸籍・国籍の問題
 - (5) 供託の問題
 - (6) 人権の問題
 - (7) 金銭関係・多重債務等の問題
- お問い合わせ
新潟地方法務局十日町支局
TEL 752・2575

津南病院からのお知らせ

木曜日の外来休診についてお知らせします。

今まで毎週木曜日に県立十日町病院の診療協力により、外科医師(林哲一先生)の派遣を受けて外来診療を行ってまいりました。しかしながら、県立十日町病院の外科の診療体制が変更になることに伴い、10月以降当分の間、毎週木曜日の外科は休診とさせていただきます。たいへんご迷惑をお掛けいたしますが、事情をご理解いただき、引き続き当院を受診いただきますようお願いいたします。

■お問い合わせ
津南病院 TEL 765・3161

きのこ鑑別講習会

十日町食品衛生協会では、きのこ狩りシーズンを前に、きのこによる食中毒の未然防止と正しい知識の普及を図るため、「きのこ鑑別講習会」を開催します。

■日時 10月16日(火)(受付開始 午前9時) 午前9時30分～午後2時20分

■会場(現地集合) マウンテンパーク津南

■参加費 無料・きのこ汁サービス
※昼食は各自でご用意ください。

■お申込み・お問い合わせ
税務町民課 町民班
TEL 765・3113



国保だより

上手なお医者さんのかかりかた

お医者さんにかかるとき、ちよつとした誤解や思い込みで治療が長引くことがあります。

また、休日や夜間に、軽症の患者さんが救急医療へ受診することにより、緊急性の高い重症の患者さんの治療に支障をきたすことがあります。

必要なときに、必要なかたが安心して医療が受けられるように、医療機関の受診等の際には、次のことに注意しましょう。

▼かかりつけ医を持ちましょう

「かかりつけ医」とは、病歴や健康状態などを把握して健康管理全般のアドバイスをしてくれる医師のことです。

風邪などの軽い病気であれば、大きな病気でも身近な開業医でも治療内容はほとんど変わりません。

日ごろから健康管理につとめ、異変を感じたら、「かかりつけ医」へ相談・受診しましょう。

▼わからないことは確認を

お医者さんの説明をよく聞いて、受診

の疑問や不安を解消した上で治療にのみましましょう。

また、同様にお医者さんの質問にも隠さず答えることも重要です。

▼指示は守りましょう

ご自身の判断で処方された薬を飲まなかったり、薬の量を加減したりすることはやめましょう。

薬が余っているときはお医者さんや薬剤師さんに相談しましょう。

▼重複受診をひかえましょう

「重複受診」とは、同じ病気で医療機関を次々と変更して受診することをいいます。

医療機関をお医者さんからの紹介なく変更すると、その都度、初診料がかかり、無駄な医療費が発生します。また何度も検査や処置、投薬などを行うことで、ご自身の体にも負担がかかります。

▼夜間や休日の受診はひかえましょう

「昼間、普段の病院は混雑しているか

ら」などの理由で夜間や休日に受診することはやめましょう。

本来の診療費のほかに別料金も追加されますし、急病のかたの治療に支障をきたす恐れがあります。

体調が急変したなどのやむを得ない場合を除いては、診療時間内に受診しましょう。

▼ジェネリック医薬品をご存じですか？

ジェネリック医薬品はこれまで効き目や安全性が確認されてきた薬と同等と認められた、低価格の薬です。ジェネリック医薬品を使用することにより薬代の負担の軽減につながります。

ジェネリック医薬品を希望される場合は、医師・薬剤師にご相談ください。

保険料の納付にご協力ください

皆さんが医療機関を受診するときの医療費は、加入者からの保険料や国や県からの補助金によって支えられています。いざというとき安心して医療機関にかかるよう、保険料の納付にご理解とご協力をお願いします。

▼事情により納付が困難な場合

災害やその他の特別な事情によって生計を維持することが困難になった場合は、保険料の徴収を猶予したり、減額したりする制度があります。

納付が困難な場合は、滞納したままにせず、お早めにご相談ください。

▼保険料の滞納が続くと...

特別な事情がないのに保険料を滞納していると次の措置がとられることがあります。

①納期限を過ぎても納めないとき
納期限が過ぎると督促が行われ、延滞金などが加算される場合があります。それでも滞納が続くと、通常の保険証の代わりに、有効期限の短い「短期被保険者証」が交付されます。

②1年以上滞納が続くとき
保険証の代わりに「資格証明書」が交付されます。

資格証明書になると、医療費はいったん全額自己負担となります(申請により、保険給付分は払い戻されます)。

※短期被保険者証や資格証明書の交付に際しては、納付相談が行われます。

▼納付には口座振替が便利です

あらかじめ手続きいただければ、指定口座から納期に合わせて自動的に引き落とされます。

便利で安心・確実な口座振替をぜひご利用ください。

※口座振替を希望するかたは、取引のある金融機関の窓口で、手続きください。

■お問い合わせ
福祉保健課 保険班
TEL 765・3114

保育園いきいき推進計画

幼児期からできるだけ多くの動きを経験することが運動神経の発達に重要です。保育園では自然の中で思い切り体を動かして遊ぶことで個々の成長発達を促し、体づくりをすすめています。

一日のよいスタートを

■保育園では、体と心づくりの基盤である早寝・早起き・朝ご飯をご家庭と連携し実施しています。そして、園生活の活力を大きく左右するのは、なんと「おはようございます」という元気のよいあいさつです。朝からすっきりしない表情、元気がない声、離れがたい姿に出会うときは、遅く寝たのかな？朝遅く起きたのかな？目が覚めないのかな？など、子どもたちの状態にあわせ、ゆっくり気持ちの切り替えをすすめて一日のスタートをしています。



年齢に合わせた

動きや遊びの工夫

■1歳半から2歳半では、しっかりと歩ける、良く走れる、つま先で歩く、リズムに合わせて手足を動かす、高いところから飛び降りる、両足で飛ぶ、物にぶら下がるなど獲得していきます。

■2歳半から4歳半では、三輪車に乗ってこぐ、ブランコに立ち乗りする、ハサミを上手に使う、衣服の着脱が一人でできる、こぼさないで食べられる、一人でトイレに行ける、一人で体を洗う、片足ケンケンできる、でんぐり返しができるなど、姿勢の維持から運動獲得へと移行していきます。

食育を通して

心も育てます

■4歳半を過ぎると運動能力が飛躍的に伸びます。スキップ、跳び箱、縄跳び、鉄棒、竹馬、棒上り無理かと思えるようなことも教えると上手にできるのびっくりすることがあります。自分の体についてのイメージが細かいところまではっきり意識されていき、身体のそれぞれの部分がよく動き巧みな運動能力を発揮することができるようになります。

保育園ではリズム遊び、戸外遊び、散歩等自然の中で思い切り体を動かし遊ぶことにより個々の成長発達を促し、体づくりを展開していきます。また、畑で作った物を収穫し、仲間といっしょにおいしくいただきながら、食育を通して心を育てます。元気のよい朝からスタートです。



病院歳時記

白目が真っ赤になる…結膜下出血とは

眼科外来 看護師 柳澤里子

白目が真っ赤になり、びっくりしてしまうことが少なくない疾患です。文字通り、結膜という白目の表面の膜の下に出血を起こします。若年から高齢までのかたに起こり、眼科では意外と多い疾患です。

特徴は、白目が少し赤い絵の具を塗ったみたいに真っ赤になる。部分的に真っ赤いところが残ることも多い。痛み、目やにはない、見え方も変わりはない、などです。原因はさまざまですが、これは血がたまってしまっただけですので心配はなく、治療も特にせず様子を見ます。まれに、その部分がむくむためにゴロゴロしたり、まぶたの方まで赤くなったりすることがあります。数日では治らないことがあります。2〜3週間程度白くなることがあります。

上記の症状であれば慌てる必要はありません。一刻も早く受診したくなりますが、様子をみて大丈夫なことがほとんどです。ですが、よくわからなければ慌てずに一度眼科を受診してみてください。

年金コーナー

『追納』と『後納』の違いは？

先月号でお知らせした『後納制度』が10月から始まりますが、以前からある『追納制度』と比べてどんな違いがあるのでしょうか。

★後納制度（10月からスタート）
過去10年以内の未納分の保険料を納められます。この未納分には、一部免除対象者の納付分金額の未納も含まれます。（一部免除を受けていても、納付分金額を納めない未納になります。）後納制度は、将来の年金額を増やすだけでなく、納付月数を確保し、老齢・障害等の基礎年金の受給資格を得るための制度です。

★追納制度
全額免除・一部免除、若年者納付猶予および学生納付特例の承認を受けたかたが10年以内の免除・猶予期間の保険料を納付できる制度です。これらの免除等を受けた月数は、受給資格を認定する際、納付月数としてはカウントされますが、年金額は免除割合に応じて少なくなります。（猶予と学生納付特例については年金額には反映されません。）追納制度は、免除等を受けたかたが、受給年金額を満額に近づけるための制度です。詳しくは年金事務所までお問い合わせください。

【お問い合わせ】
・六日町年金事務所
TEL 025・7116・0800
・税務町民課町民班
TEL 765・3113

議事会コーナー

＜実施された行事＞

- 〔8月〕
22日 東日本大震災被災地(原発事故被災地)視察
～24日 新潟県町村議員研修会(新潟市)
- 〔9月〕
28日 議会運営委員会
4日 全員協議会
4日 産業建設常任委員会作況調査
10日 平成24年第3回津南町議会定例会
11日
～14日

- 19日 民生児童委員との懇談会(総文福祉常任委員会)
- ＜今後の行事予定＞
- 〔9月〕
21日 津南中学校訪問及び懇談会(総文福祉常任委員会)定期監査
- 〔10月〕
3日 全国町村監査委員研修(東京)
～4日 全員協議会
5日 全員協議会
12日 町建築協議会との懇談会(産業建設常任委員会)

健康体力づくり100日運動

毎月10日までに100日運動カードを提出いただいたかたを、このコーナーで紹介いたします。(敬称略)

- 4100日 中島博稔(陣場下)
 - 3900日 桑原マサノ(貝坂)
 - 3200日 石橋玲子(陣場下)
 - 1100日 大倉榮子(小下里)、大倉欽一(小下里)
 - 1000日 中島陽子(陣場下)、大倉一郎(小下里)、大倉進(小下里)
 - 800日 大倉敏雄(小下里)、大倉健一(小下里)
 - 700日 清水ミサホ(小下里)
 - 100日 鈴木キノ(大割野)、板場ヨキ(割野)、篠原セイ(外丸)
- 主な運動: ラジオ体操・水中ウォーク・健骨体操他



私の職場であるクアハウス津南には最新のトレーニンング機器が揃いました。筋肉をしっかりとりたい方向けの筋トレのマシンはもちろんのこと、今注目されている体幹(正しい姿勢を保つための)トレーニングが出来る機器もお勧めです。簡単な動きで姿勢改善、腰痛・膝痛予防や改善など、様々な効果を得られる物です。使い方は優しい(???) スタッフがサポートいたします。今までの『トレーニング』とは一風変わった、見た目には優しそうな(笑)形をしています。ぜひ一度見てみる価値あります！お気軽に寄ってみてください。

体を動かす方法はそれぞれですが、1人ではなかなか継続しにくいものです。そんな時はぜひクアハウスを活用してみませんか。仲間やスタッフと楽しく健康になりましょう。

(中高生のトレーニングにもお勧めです！)

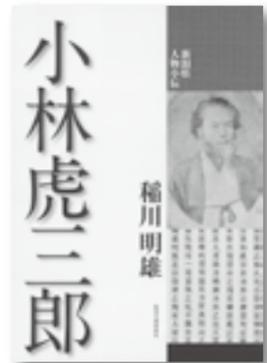
健康づくり ア・ラ・カルト

健康と運動

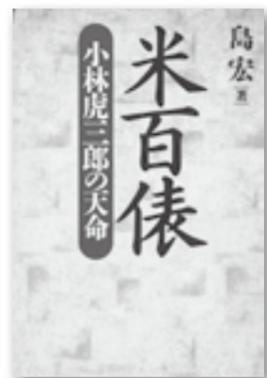
佐藤 かおるさん

気が持ちの良い爽やかな風が吹く季節になりました。秋はスポーツの季節です。スポーツといえば、私は子どもの頃から体を動かす事が大好きで、遊びといえば鉄棒やブランコ、鬼ごっこや木登りをして遊んでいました。スポーツ好きが高じて、運動を指導する事に就いてしまった程です。現在も週に何回かは汗をかいて息がぎれるような運動を続けています。

私と同年代の働き盛りの方たちは、身体を動かしたくても中々時間が作れないという話をよく聞きます。そんな忙しい方達向けに、現在は仕事の合間や休憩時間の十分間だけでも身体を動かしましょうという取り組みが始まっているそうです。仕事の合間や仕事が終わってからの軽い運動は気持ちが良いだけではありません。疲れた時にスポーツなんて、と考えがちですが、ストレッチや軽い運動は疲労回復に大きな効果をもたらします。足腰に持病を抱えている方でも運動の方法次第では、改善できる場合も多いのです。私の職場であるクアハウス津南には最



「新潟県人物小伝 小林虎二郎」
稲川明雄 / 著 新潟日報事業社 1,000円(税別)
長岡復興のためにこそ学校は必要であると説いた、その名も「米百俵」で知られるその人です。



「米百俵 小林虎二郎の天命」
島宏 / 著 ダイヤモンド社

平成5年に映画化された「米百俵」のシナリオを全文収録。
著者は、映画の脚本と監督を手掛けた作品です。



く三つに分け展開していきます。本編に入る前に継之助を語る上で二つだけ重要なキーワードがあるとして「民は国のもと、吏は民の雇い」という継之助の残した言葉をあげています。
「峠 上・中・下」
司馬遼太郎 / 著 新潮社

広報ライブラリー

BOOK TIME

秋も本番。さあ、実りの秋です。さて、今年11月11日(日)に、県立図書館と町公民館の共催による「小林虎二郎」の講演会を予定しています。今月の一冊が「新潟県人物小伝 小林虎二郎」であるのは、その宣伝も兼ね、ご紹介させていただきました。

講演会のタイトルは「米百俵・小林虎二郎の明治維新」です。
講師は、前新潟県立図書館長、安藤哲也さん。安藤さんは、「吏に生きた男 河井継之助」という本を新潟日報事業社から出すなど、河井継之助の研究についても明るい方です。そこで、「米百俵・小林虎二郎」講演会をキーワードに本をご紹介します。



「吏に生きた男 河井継之助」
安藤哲也 / 著 新潟日報事業社

これは、11月に講演会をしてくださる安藤さんが出された本です。
安藤さんは、新潟県庁の職員であったときに執筆を手掛けています。この本の初版は2000年の7月。著者が河井継之助を調べ始めてから二十数年を経ている出版のようです。(あとがきより)
本編は、河井継之助の生涯を大きく

河井継之助を主人公にした小説。これは、昭和41年11月から約一年半にわたり毎日新聞に連載されました。著者は、その約半年前に「竜馬がゆく」を完成し、この『峠』を書き終えると同時に『坂の上の雲』を書き始めたといわれています。
誰もが知るあの竜馬と坂の上の雲に語られる時代のいゆる英雄とされる人物たちの間に、継之助を主人公としたこの歴史小説が描かれたという事は、非常に興味深いことです。
小林虎二郎と同じ時代に生きた新潟県長岡が生んだ河井継之助。その名をこの小説で初めて知ったかたも少なくないのではないかと、いわれています。

つなぐの文芸

短歌

砂丘	「こんにちは」声さわやかに丸刈りの頭下げゆく野球部の子ら	貝澤 圭子
	道沿ひの家壊されて対岸の見通しをよく景色新し	涌井 ユミ
	紺色の素描の如き山脈は冷たき風に清しく見ゆる	関谷 郁子
	伸びゆる朝顔の蔓屋根を越え空を揺れをり行き所なく	恩田 久美子
	土曜日の物干し竿にひるがえる一週間分の夫のYシャツ	丸山 直子
	大空に朱鷺羽ばたきて遠ざかる慶子皇女の御陵の近く(順徳上皇第一皇女)	小野寺 恒代
	入学式明日と言ふ孫訪ぬれば玩具が机の中に収まる	樋口 康子
	秋祭り宮の広場のカラス踊り唄の文句におかしみ誘はる	上村 みな
	清く澄む中津の水と信濃川濁れる水と交り難く(合流点を離れて)	内山 キク
	雪消えの濡れ土もたげ匂ひたち露のとう伸ぶ畦に並びて	麻績 初恵
	樽神輿かつぐ幼等わが前を踊るが如く通り過ぎたり	滝沢 勝枝
	異常なる今夏の暑さで来る冬は豪雪になるやと人等噂す	風巻 京子
	落ち種の千鳥草咲き花穂揺るる	月岡 ヨリエ
	背よりも高き白と紫	鈴木 綾子
	広島原爆忌記す新聞に	萩原 光之
	包まれ届くカサブランカの花	
	人間を過ぎゆく時の思はれて	
	阿賀のゆたけき流れ見えてをり	

俳句

長生学園	年毎に友去り逝けるクラス会	柳沢 チヨ
	面影忍び黙持ささぐ	富沢 キミ
	両陛下被災者見舞うと車中より	板場 寛
	笑顔で手を振る沿道の人に(七月十九日)	滝沢 義正
	茜色薄く広がる雲の下	島田 眞之
	紫キキヨウは涼風誘う	
	草のびあまりの早さに追われつつ	
	日暮れのひととき墓地の草抜く	
	ひまはりの大きー輪出棺に	
	集ふ村人迎へることく	
個人	我残し夫一人逝く黄泉なり	貞子
	呼べど叫べど還らざるけり(スズルキ)	清水
岩すげ俳句会(八月)	短夜や介護の日記読みかへし	れい子
	灯を消せば石も鳴くらし河鹿川	しげる
	老いし身を少しかばひて夏羽織	貞
	花街の昼や掃かるとる灯取虫	房良
	風穴の滴り無限風無限	酔花
	点滅を草に移して恋蛩	渡舟
	露抜きの呼びも返事もオーイかな	兎月
	七月や杉鬱蒼と古社	妙
	顔中を口にして開け燕の子	芳司
	梅雨寒に犬の出入りの戸を閉める	冬詩子

Pen Relay

本とわたし

今井哲也さんから

紹介する本 **人生教習所**

著者名/垣根涼介 出版社/中央公論新社

石澤貴司さん(鹿渡)

今回私が紹介する本は「人生教習所」という本です。
私はそもそも本を読むこと自体が苦手な方なのですが、なぜこのような重苦しいタイトルを選んだかといえますと、今私が携わっていることや、将来何になりたいか等の不安や悩みがあったからなのかもしれません。書店でこの本を見かけた時に、何か自分の助けとなってくれるかもしれないと思ったのがこの本を読むきっかけとなりました。

この本のストーリーとしては、両親のいいなりになって生活していたら自分を見失ひひきこもりになってしまった東大生、組織の仕事が嫌になり南米へ逃亡していた元ヤクザ、コミュニケーションをとることが下手で仕事ができなくなった女性フリーライター等の人生の落ちこぼれが「人生再生セミナー小笠原塾」という募集広告を見たことから始まります。

この小笠原塾には有名団体・企業が後援し、合格者には100%の就職斡旋を行うというものでした。就職を願う人、自分を変えたいと願う人がこのセミナーに参加していきます。そして、小笠原諸島でこのセミナーを受け、その島に住まう人々の話を聞くにつれて参加者の「なにか」が変わっていくストーリーです。

私は、このストーリーの中で講義内容に惹かれました。いくつかある講義内容の中に目的と手段という項目があります。その中の質問で「自分で会社を作り社長になりたい。」と「自分で会社を作り育てていきたい。」のどちらの方が成功しそうですか? という例文があります。この場合目的のしっかりしている後者の方が成功しそうですといえます。このような簡単な例と私の思い描いていることを照らし合わせると目的や着地点をしっかりと捉えていなかったと理解することができました。

この本で学んだ色々なことを、これからの人生に生かしていければと思います。

最後に、この本に興味を持ち、読んでくださったかたの何かしらの助けになれば幸いです。

次は、観光協会の大島麻実さんにお話ししたいと思います。



Tap

でいごう!!

津南体育の日まつり 町民歩けあるけ大会&めぐりんピック

例年たくさんのかたが参加している秋恒例の第31回「津南町歩けあるけ大会」を10月8日(月)に開催します。今回も昨年同様、30kmのコースを歩きや走りてゴールを目指す「河岸段丘めぐりんピック」も同時開催します。

稲刈りも終わりに近づく季節に親子や3世代で楽しく歩きましょう。もちろん普段から気の知れた仲間や職場のかたとといっしょの参加も大歓迎です。また10月に開催される「目指せ！チーム100万歩」に参加してチームのメンバーと参加してみませんか？食欲の秋と同様、スポーツの秋を皆さんで堪能する良い一日としましょう。

第31回津南町歩けあるけ大会

- 日時 10月8日(月) 体育の日
受付開始 午前8時20分から
スタート 午前9時
- 集合 中津小学校
- コース(約11km) 中津小↓石坂↓天上原↓竜神の館
- 参加費 300円/1人
- 送迎(中津小学校へ到着) 芦ヶ崎小(午前8時15分) 発



- その他 竜神の館(午後1時30分) 発
- ・ゴール後にお楽しみ抽選会をします。
- ・詳細は広報紙といっしょにお配りしたチラシをご覧ください。
- お申込み・お問い合わせ 総合センター 電話765・5776

第2回河岸段丘めぐりんピック

今年も30kmを歩きや走りて津南の名所めぐりゴールを目指す「河岸段丘めぐりんピック」を同時開催します。今年も中学生以上を対象に団体の他に個人の部を新設しました。部活仲間、職場仲間、ランニング仲間の皆さんの挑戦をお待ちしています。

- 日時 10月8日(月) 体育の日
受付開始 午前7時から
スタート 午前7時30分
- 集合 竜神の館
- コース(30km) 竜神の館↓反里↓マウンテンパーク津南ロッジ↓津南駅↓こつつお市↓竜神の館(30km)
- 参加費 中学生 500円
高校・一般 1,000円
- 部門 ①個人の部
②団体の部(3人1チーム)
- 表彰 各部門1位から3位まで表彰します。
- その他 制限時間は午後2時までとします。
- ・コース内に給水や軽食を用意します。
- ・詳細は広報紙といっしょにお配りしたチラシをご覧ください。
- お申し込み・お問い合わせ 総合センター 電話765・5776

- お申し込み・お問い合わせ 総合センター 電話765・5776

Tap (総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会) 今後の活動紹介			
教室・イベント名	日時	会場	対象
Oni game	9月29日 14:00	なじよもん	20歳以上
秋の苗場登山	10月14日 6:30	集合 津南町役場	30歳代以上
ぴんぼん卓球教室	10月 月曜・水曜	総合センター	40歳以上 初心者歓迎
らくらくエアロビクス	10月 月曜 昼・夜	総合センター	40歳以上 初心者歓迎
キッズわんぱくランド ハロウィンイベント	10月31日 16:30	文化センター	園児・小学生・保護者
キッズプレスポ	10月 金曜 19:00	総合センター	小学校1年生~3年生
気軽にエクササイズ	10月 金曜 19:00	総合センター	大人の方全般
韓国語を学ぼう	10月 水曜 19:30	文化センター	韓国語に興味のある方

歩けあるけ大会とめぐりんピックを主催するTap (総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会) の今後の活動を紹介いたします。詳細については総合センターへお問い合わせください。

最終回

大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2012 大地の市から

津南あゝともりあげ隊が、津南エリアの大地の芸術祭に関する情報をお届けします！
■お問い合わせ 地域振興課 電話765・3115

終わっちゃいましたね、大地の芸術祭。作品制作を手伝った人。ひたすら作品を観てまわった人。イベントに参加した人。運営を手伝った人。出店した人。

おもてなしをした人。それぞれの関わりがあったと思います。長かったような短かったような50日でした。これまでよりもたくさんの方がこの地を訪れてくれましたし、

これまでよりもたくさんさんの津南のしよが大地の芸術祭に関わってくれました。そして、いろいろな人から、今年の津南は元気だねという声を聞きました。バンザイー。バンザイー。

そうそう、三年後の開催も決まったようです。さてさて次は何やって楽しみましようかね。



津南あゝともりあげ隊

津南石造物散歩

184

つまり石仏の会
文責 桑原和位

どつらくく神・どつろくく神(道祖神)

石に男女が寄り添う像を刻した石仏を「道祖神」として『野仏の里 つなん』や『つなん野仏の魅力』で紹介してきました。最近、石仏愛好者のかたから、石仏探訪に誘われる機会が多くなりました。誘われるままに出かけると「男女が寄り添う石仏」の像容も、呼び名も地域によって違いがあります。

私が探訪した津川地区は、「きんかさま」と呼んでいましたし、栃尾・山古志地区では、「さいのかみ」でした。北魚・南魚地区や柏崎地区では「どつらくくじん」。十日町・中魚地区も「どつらくくじん」でした。長野県北信地区では「どつらくくじん」と呼んでいました。津南地区は、「どつらくくじん」のほか、「どつろくくじん」と呼ぶところもあります。

文字塔では「道祖神」のほかに、「塞神」「猿田彦命」と刻字されている石仏がありましたし、穂高地区では「岐神」の文字塔にも出会うことができました。(古事記 日本書紀に出てくる神の名です)

石仏探訪で楽しみの一つに先達から石仏についての一端をお聞きすることです。K氏が「塞神」の前で、「幸神」や「妻神」にも出会ったことを面白おかしく話されたことを思い出しました。

道祖神



津南町結束

道祖神の前で手を合わせた人々は何を願ったのだろうかいつも思います。先達の研究やお話を聞きますと、ますます道祖神に興味がかかります。私は、道祖神の信仰を次のように解釈しています。日本には昔からあった生産、生殖の神として祀られていました。五穀豊穡や子孫繁栄、縁結び、夫婦和合の願いを祈りました。また、自分たちの村に悪いものが入ってくるのを遮る守りの神として信じられました。また神話で天孫降臨のおり、道案内をしたという猿田彦命を祀ることから、旅や道を守ってくれる神として「道祖」という文字が当てられました。新潟県の道祖神研究の第一人者の横山旭三郎氏の著書『新潟県の道祖神』に「呼び名別地帯図」が掲載されています。

じゃがバラのゴロ照り

紹介者 高橋悦子さん（谷内）

今年もじゃがいもがたくさん採れました。おいしいほくほくのじゃがいもをジューシーな豚バラ肉で巻いて、ボリュームのある照り焼きにしました。ときどき我が家に遊びにくる食べざかりの甥っ子、姪っ子からリクエストがでる一品です。お弁当にもいいですよ。



<材料>

- ・じゃがいも ……中3個
- ・豚バラ肉（薄切り）…12枚
- ・塩、こしょう ……適宜
- ・小麦粉 ……適宜
- ・サラダ油 ……適宜
- ・砂糖 ……大さじ2
- ・酒 ……大さじ2
- ・しょう油 ……大さじ2

<作り方>

- ①じゃがいもを縦に4つに切って、少しかためにゆでる。
- ②豚バラ肉を広げて並べて塩・こしょうをし、小麦粉を薄くふっておく。
- ③①を②の豚バラ肉をくるくると巻き、巻き終わりが剥がれないようにしっかりと握っておく。
- ④フライパンを火にかけ、サラダ油を少しひいて、③を巻き終わりを下にして並べこんがり焼く。
- ⑤④にだいたい火が通ったら、フライパンの中の余分な油をキッチンペーパーで吸い取る。
- ⑥⑤に砂糖、酒、しょう油を入れて、全体に照り焼きにする。

「二つの事業開催から反省、そして今後へ」

先月のこの紙面で結婚相談員会議主催の「出会い坂ハイキングサンデー」の開催内容をご報告させていただきましたが、私なりに再度振り返り、今後の活動もお伝えしたいと思います。

相談員と事務局の5人で、コースの下見と草刈り整備を兼ねてこの坂を昇り降りした結果…励まし合いなどできないほどの

また結婚式シーズンの秋がやってきました。披露宴への招待状がお手元にある方もいらっしゃる時季ではないでしょうか？年末にかけて「結婚に向けた講座」や出会いの場も計画中です。お楽しみに♡♡



ハードな坂だったため、下るだけのコース設定としました。下り坂もハードでしたが、下りからの「石垣田見学」も歩く道が狭かったため、会話する場面が予想以上に少なく、今後の課題として残りました。

初対面の男女15名の緊張をほぐそうと、出発地点までのバスの中で、女性の相談員がユーモアたっぷりに男女交際の心得話を語り、リラククスできたようでした。笑い声も聞こえるようになり、結婚相談員とはこういうこともできるようにならないといけないのだと勉強させていただきました。

相談員としての資質をあげるような研修には、どんどん参加しなければお役に立てないようです。

今回の催しを準備し参加させていたいただき、自分が若い頃の青年団活動を思い出しました。

「バス旅行」「キャンプ」「ダンスパーティー」「球技大会」「青年祭」などの大きな行事から、各種の「サークル活動」などがあり、近隣市町村の若者とも交流の場がありました。昨今では、若者の減少、趣味やライフスタイルの多様化、仕事や勤務状態の複雑さなどで各種の活動が難しい時代となり、出会いの機会

が少なくなっているのではないのでしょうか。「いくつになっても結婚する時が適齢期」と言われてはいても、結婚する気持ちのない若者が増えているような感じが否めないのです。サークル活動などで自然なおつきあいがら始めて、自然な形で結婚に到達する、そんなサークル活動の代りになればという願いも込めて、相談員会議では今回のような出会いのきっかけの場を今後も計画しています。（個別に1対1でのお見合い設定は現在行っておりません。）

★期日未定
「結婚に向けた心構え講座」
★12月1日(日)
「クリスマスパーティー」
★来年3月24日(日)
「クッキングデート」

まずは、気楽な気持ちで「友達つくり」から始めてみましょう。悩んだら私たち結婚相談員に一声かけてください。

私たち結婚相談員全員、独身の皆様を応援しています。

津南町結婚相談員 樋口友茂（卯ノ木）

NEWS 02 たくさん本が読めるよ

— 8/23 日本食研(株) 図書購入費100万円寄贈 —



↑ 日本食研(株)本社での贈呈式

日本食研(株)から小中学校へ100万円分の図書が寄贈されました。なお、日本食研(株)からの図書の寄贈は今回で4回目となりました。いただいた図書は各小中学校の日本食研文庫に展示して子供たちとたいせつに使わせていただきます。ありがとうございました。

NEWS 03 日本一うまいお米です。

— 9/10 食の大使任命 —



↑ 食の大使に任命されたbroncoピリー社長竹市さん

名古屋市を中心に全国に70店舗のステーキチェーン店を展開する「株式会社broncoピリー」社長の竹市靖公さんが、津南の食を全国に発信する「食の大使」に任命されました。すべての食材に強いこだわりをみせる同社では、7年前から津南町の米を日本一うまいお米として提供いただいています。



↑ 三宅選手とコーチであるお父さんの義行さん

つなん まちかど スケッチ

Tsunan Event Sketch.



NEWS 01 オリンピックの銀メダルだよ

— 9/3 三宅宏実選手 オリンピック報告会 —



↑ ひまわり保育園の子どもたちに銀メダルを触らせてくれました。

ロンドンオリンピックの女子重量挙げ種目に出場し、銀メダルを獲得した三宅宏実選手が津南町にやってきました。毎年、女子重量挙げの合宿をニュー・グリーンピア津南で行っており、今回も、オリンピック後初の合宿を行うために津南町を訪れました。

報告会が行われた役場前には、たくさんの町民が集まり、銀メダル獲得を祝いました。

三宅選手は「津南の大自然の中で合宿を行うことができ、結果も出せた」と感謝の言葉をのべました。銀メダル獲得おめでとうございました。

戸籍の窓

おめでとう
おさいます (出産)

- 島田楓斗(赤沢) 郁弥さん
みなみさん
- 藤木香里那(米原) 直人さん
春奈さん
- 反り目にこ(中深見) 靖之さん
美穂子さん

すえながく
おしあわせに (結婚)

- 藤ノ木健さん(太田新田) }
小宮栄利子さん(東京都) }
- 桑原 亨さん(秋成) }
藤木 有夢さん(岡) }
- 島田 慎一さん(割野) }
福原奈津美さん(外丸) }
- 桑原 淳さん(十二ノ木) }
栗 小菊さん(中国) }

おくやみ
もうしあげます (死亡)

- 滝沢ヨシエさん (84歳・赤沢)
- 阿部清一郎さん (86歳・前倉)
- 涌井和子さん (80歳・岡)
- 山田政一郎さん (78歳・大割野)
- 島田ミナさん (80歳・宮野原)
- 板場キヨさん (87歳・辰ノ口)
- 板場重行さん (84歳・割野)
- 津端政春さん (74歳・割野)
- 桑原正輝さん (88歳・豊郷)

● 秋季企画展 「三十稲場式土器文化の世界」 11月11日(日)まで

この企画展に伴ったシンポジウムを10月13日(土)・14日(日)にマウンテンパーク津南で開催します。

シンポジウムでは、三十稲場式土器や、土器で何を煮ていたのか？4300年前の環境変動や当時の地形についてなど、最新の研究成果を発表していただき、三十稲場式土器を作った人々の暮らしに迫ります。

詳しくはチラシをご覧ください。なじよもんへお問い合わせください。皆様のお越しをお待ちしております。

● 焰祭(ほむらまつり)

■開催日時：9月29日(土) 13:00 ~ 9月30日(日) 12:00

■会場：農と縄文の体験実習館なじよもん 縄文ムラ

■入場：無料

年に一度のなじよもんの祭典！街灯一つない最高のアナログ環境で、満月を見ながら楽しい時間を過ごそう！電気ばかりに頼る日常から少し離れて、火を囲み、その温かさ、たいせつさを感じてみませんか？ステージ、ワークショップ(体験)、アトラ



クション、出店、キャンプなど盛りだくさんな2日間。ちょっと遊びに来るだけでもよし、テントを持ってキャンプでおもいきり参加するもよしです！

焰祭では、たくさんのワークショップに参加すると、「なじよ~も」という土のイベント通貨がもらえるよ！いっぱい働いてなじよ~もをGETして、薪やごはん、飲み物を手に入れよう！

※詳細は、HP及びFacebookページ等で確認できます。

HP内イベントページ：http://www.najiyomon.com/page_event/index.php?id=1334274687

Facebookイベントページ：<http://www.facebook.com/#!/events/464710950219540/>

予約受付中！

当日受付も可

※ただし定員になり次第締切ります

10月 【なじよもん ☎ 765-5511】

日時	プログラム	金額	対象	
6日(土) 13:30~15:30	どんぐり拾いとコーヒー作り	500	低学年から	
7日(日) 13:30~15:30	ツルマメ集め(食べられる木の実・草の実)	無料	低学年から	
8日(月) 9:00~11:00	脱穀	無料	低学年から	
11日(木) 19:30~21:30	星空観察	300	低学年から	
13日(土) 10:00~12:00	そば打ち	800	中学年から	
14日(日) 13:30~15:30	アンギン編み	1,000	高学年から	
20日(土) 9:00~15:00	山伏山探訪	800	低学年から	
21日(日)	10:00~12:00	ツルマメ、ヤブツルアズキを食べてみよう	300	低学年から
	13:30~15:30	陶芸(釉かけ)	9/16に参加した人は無料	低学年から
27日(土) 9:00~15:00	ノリウツギ刈り	無料	低学年から	
28日(日) 13:30~15:30	アンギン編み	1,000	高学年から	

※友の会の皆さんは半額です。

津南町の人口

■人口10,805(-1) 男5,259(-2) 女5,546(1)

9月1日現在()内は前月比

■世帯数3,655(-3) ■転入/17 ■転出/12 ■出生/4 ■死亡/10 ■婚姻/6

広報編集室

原爆で「14万人が亡くなった。」その亡くなった一人ひとりに名前があり、家族があり、暮らしがあった。そんな当たり前のことが、たくさんの中に埋もれてしまふ。人は今も、世界中で戦争をしている。戦争をしないために、人は常に努力が必要だ。②